

マイナちゃんピオンシップ・かがわ 2022

—マイナンバーカード利活用アクセラレーションプログラム—

募集要綱

1. 事業目的

マイナンバー制度は、行政の効率化、国民の利便性の向上、公平・公正な社会の実現のための社会基盤であるとともに、マイナンバーカードは、本人確認の際の公的な身分証明書としての利用やさまざまなサービスを受けることができるなどのメリットがあり、「デジタル社会のパスポート」として、マイナンバーカードの取得率を向上させていく必要があります。

マイナンバーカードが持つ本人確認・認証機能を、デジタル社会の基盤として徹底的に利活用し、行政サービスだけでなく、民間ビジネスの様々な局面での利用を進めるため、「マイナンバーカードの使い道」をテーマに「マイナちゃんピオンシップ・かがわ2022—マイナンバーカード利活用アクセラレーションプログラム（以下「本プログラム」）」を実施します。

2. 募集内容

「マイナンバーカードの使い道」をテーマとして、マイナンバーカードの以下のいずれかの機能を利用したサービスを募集します。

- ① 電子証明書の利用
- ② 4情報の入力支援（氏名・住所・生年月日・性別）
- ③ カードICチップの空き領域の活用

※行政サービスに限らず、マイナンバーカード利活用促進に資するあらゆるサービスを対象とします。住民の目線で、マイナンバーカードで「こんなことができたらいいな」、「こんなことに使えると便利だな」を実現する、利用価値の高いサービスを募集します。

web3、NFT、メタバース、DAO、地域通貨、医療、教育、公共交通、関係人口、ふるさと納税、健康福祉など、多様な利活用案をお待ちしています。

※他自治体等で実装されていないサービスであることが条件となります。

本プログラム期間中に必ずしもサービスを完成させることまでを求めるものではありませんが、アイデアだけで終わることなく実装が見込まれるサービスを募集します。

3. 概要・特色

本プログラムを通じて開発された成果物については、県内自治体と実証フィールドの提供、実証実験の実施、サービス実装に向けて協議をすることができます。

※自治体における予算化が確約されるものではありませんので、必ずサービス実装ができるわけではありません。

4. 応募対象者

マイナンバーカードを利活用したサービスの開発を目指す者であれば、個人・法人・団体のいずれも応募が可能です。

※複数の個人・法人・団体に構成する任意団体の応募も構いません。

※アイデア案だけで終わることなく、その案を実現しようとする強い意志を持ち、実現可能性を有する方に、是非とも、ご参加いただきたいと考えています。

5. 募集期間

令和4年10月3日（月）～令和4年11月7日（月）

6. 募集方法

下記の特設サイト内の応募フォームから応募ください。

※同一主体からの複数の応募は可能ですが、サービス案1件ごとに応募申請をお願いします。

(1) 本プログラム特設サイト

<https://mynumbercard-contest.kagawa.jp>

(2) 必要記入事項

○代表者氏名（必須）

○代表者連絡用メールアドレス、電話番号（必須）

○チーム名・法人名・団体名（チーム・法人・団体に申込みの場合は必須）

○参加人数（必須）

○取り組みたいサービス案についての下記内容のパワーポイント資料（必須）

・ 1 ページを表紙として下記内容を記載すること

①サービス名

②サービスの概要（50 字程度）

③発案者名（チーム・法人・団体に申込みの場合はチーム名・法人名・団体名）

・ 2 ページ～10 ページ以内で下記内容を記載すること

①サービスの具体的な内容

②サービスの新規性が分かる内容

③サービス内容についての住民にとっての利便性が分かる内容

④その他アピールしたい内容

○サービスの構築にあたり活用したい（または活用予定の）行政データがある場合は、その内容（任意）

(3) 質問の受付

募集にあたり質問がある場合は、令和4年10月13日（木）までに下記の必要事項を明記のうえ電子メールによりお送りください。質問に対する回答は、上記の本プログラム特設サイトに10月19日（水）（予定）までに掲載します。

○必要事項

- ・氏名
- ・連絡用メールアドレス、電話番号
- ・質問内容

○電子メール送付先

- ・香川県政策部デジタル戦略総室デジタル戦略課 digital@pref.kagawa.lg.jp

(4) 結果通知のご連絡

書類選考の結果は、令和4年11月14日（月）に、二次選考の結果は、12月9日（金）に代表者連絡用メールアドレスにご連絡します。

7. プログラムの概要

(1) プログラムの流れ

	10月3日(月)	参加者募集開始
	10月5日(水)	オープニングイベント
	11月7日(月)	参加者募集〆切
	11月14日(月)	書類選考通過者発表
	11月15日(火)～12月2日(金)	ブラッシュアップ期間
	12月5日(月)	二次選考資料提出〆切
	12月9日(金)	ファイナリスト発表
	12月19日(月)	ファイナリスト最終プレゼンテーション大会

(2) 各プログラムの概要

オープニングイベント

マイナンバーカードの仕組みや技術的事項の説明、マイナンバーカードの可能性について語るパネルディスカッション、本プログラムの概要説明を行いますので、奮ってご参加ください。(URL：<https://www.youtube.com/watch?v=dpEMlho5oUU>)

内容は後日、アーカイブとしてご覧いただけるよう本プログラム特設サイトに掲載します。



ブラッシュアップ期間

マイナンバーカードの利活用及びDX事情に精通した有識者からのメンタリング支援を受けるとともに、香川県内自治体職員との意見交換をする期間です。

この期間にブラッシュアップしていただいた提案内容により2次選考(下記8.(3)②参照)を行い、最終プレゼンテーションに臨むファイナリストを決定します。

○主なメンター

日下 光(一般社団法人デジタルアイデンティティ推進コンソーシアム理事/xID株式会社代表取締役CEO)

山口功作(かがわDX Labフェロー・香川県CDO補佐官/合同会社側用人代表社員)



ファイナリスト最終プレゼンテーション大会

日時：令和4年12月19日(月)13時~18時(予定)

場所：かがわ国際会議場(香川県高松市サンポート2-1 タワー棟6F)

※新型コロナウイルス感染症等の影響により、プログラムの内容やスケジュールに一部変更が生じる場合があります。

ファイナリストにプレゼンテーション(下記8.(3)③参照)をしていただき、厳正な審査のもと、最優秀賞及び優秀賞を決定するとともに、実証フィールドの提供や実証実験の実施、サービス実装に向けて、香川県内自治体と協議をすることができるサービスを発表します。

○最優秀賞(マイナちゃんピオン賞)

○優秀賞(マイナちゃん賞)

○最優秀者、優秀者、ファイナリスト進出者には、協賛企業様よりサービス開発環境の提供や商品等の贈呈があります。

8. 審査基準等

(1) 審査基準

① 書類選考

- ア 応募内容が募集要綱を満たしているか
- イ マイナンバーカードの利活用促進に資する内容であるか
- ウ 新規性があるか
- エ 住民にとって便利なサービスであるか

② 2次選考、プレゼン大会

- ア マイナンバーカードの利活用促進に資する内容であるか
- イ 新規性があるか
- ウ 住民にとって便利なサービスであるか
- エ サービス実装の実現性が高いか
- オ デザイン及びユーザーインターフェイスが優れているか

(2) 審査方法

① 書類選考

上記8(1)①の審査基準に基づき、審査委員の採点により審査を行う。

② 2次選考

上記8(1)②審査基準に基づき、審査委員の採点により審査を行う。

③ プレゼン大会

上記8(1)②審査基準に基づき、審査委員の採点により審査を行う。

(3) 審査対象内容

① 書類選考

応募エントリー時に提出される、下記内容が記載されたパワーポイント資料

- ・ 1 ページを表紙として下記内容を記載すること

- ①サービス名
- ②サービスの概要(50字程度)
- ③発案者名(チーム・法人・団体の場合はチーム名・法人名・団体名)

- ・ 2 ページ～10 ページ以内で下記内容を記載すること

- ①サービスの具体的な内容
- ②サービスの新規性が分かる内容
- ③サービス内容についての住民にとっての利便性が分かる内容
- ④その他アピールしたい内容

② 2次選考

ブラッシュアップ期間期間内におけるメンタリング支援等を踏まえて提案いただく、下記内容が記載されたパワーポイント資料

- ・ 1 ページを表紙として下記内容を記載すること
 - ①サービス名
 - ②サービスの概要（50 字程度）
 - ③発案者名（チーム・法人・団体に申込みの場合はチーム名・法人名・団体名）

- ・ 2 ページ～10 ページ以内で下記内容を記載すること
 - ①サービスの具体的な内容
 - ②サービスの新規性が分かる内容
 - ③サービス内容についての住民にとっての利便性が分かる内容
 - ④サービス実装の実現性（実現までのプロセス）が分かる内容
 - ⑤デザイン及びユーザーインターフェイスが分かる内容
 - ⑥その他アピールしたい内容

③ ファイナリスト最終プレゼンテーション大会

プレゼンテーション大会時における下記内容が盛り込まれたプレゼンテーション内容

- ・ 1 ページを表紙として下記内容を記載すること
 - ①サービス名
 - ②サービスの概要（50 字程度）
 - ③発案者名（チーム・法人・団体に申込みの場合はチーム名・法人名・団体名）

 - ・ 2 ページ以降は、制限時間内に下記内容を盛り込んだプレゼンテーションをすること（詳細はファイナリスト発表時にファイナリストにお知らせします）
 - ①サービスの具体的な内容
 - ②サービスの新規性が分かる内容
 - ③サービス内容についての住民にとっての利便性が分かる内容
 - ④サービス実装の実現性（実現までのプロセス）が分かる内容
 - ⑤デザイン及びユーザーインターフェイスが分かる内容
 - ⑥その他アピールしたい内容
- ※動画等の使用も可能

9. 留意事項

参加にあたっては、以下の事項を全て承諾した上でご応募ください。

- (1) 以下に該当する場合、審査対象外とさせていただきます。
 - ア 応募内容に不備がある場合
 - イ 応募者が、応募に際し虚偽の情報を記載し、そのほか主催者に対して虚偽の申告を行った場合
- (2) 応募にあたってご提供いただく個人情報を含む応募情報は、主催者にて本事業に必要な範囲にて利用・共有されます。また、応募情報を事前の承認なく、主催者以外の第三者に提供することはありません。
- (3) 審査経過、審査結果に関するお問い合わせには応じられません。
- (4) 本事業への参加が不適切であると主催者が判断した場合には、途中で辞退いただく場合がありますのでご留意ください。
- (5) 最優秀賞の受賞などに関して、主催者が受賞作品について一切の性能や品質の保証を行うものではありません。
- (6) 本事業を通して完成したサービスについては、主催者が公式サービスとして公認、公開、頒布などを実施するものではありません。
- (7) 作品の応募により生じる損害については、主催者は一切の責任を負いません。応募作品の知的財産権は応募者に帰属します。応募にあたって、応募者が必要と判断される場合には、自身の責任で権利処理などの手続きを行うこととします。知的財産権に関して発生した問題については、主催者は一切の責任を負いません。
- (8) 本事業では広報を目的として、プログラム・表彰式の風景等の撮影を実施いたします。撮影及び映像を使用されたくない方はあらかじめお申し出ください。
- (9) 本プログラムを通して完成したサービスについては、主催者のホームページ等で紹介させていただく場合があります。また、主催者による報告や広報物等に掲載させていただく場合があります。
- (10) 事業終了後、サービスの提供状況等について主催者からアンケートを実施する可能性があります。
- (11) 社会通念上好ましくないサービス案など、主催者が支援することが適さないと判断した場合は、参加をお断りする可能性があります。
- (12) 本プログラムに参加すること及び最優秀賞等を受賞することなどによる、主催者からの金銭的な支援はありません。
- (13) 本プログラムへの参加費用は無料です。ただし、移動に係る交通費やオンライン参加に係る通信費、開発にかかる費用等は参加者の自己負担となります。
- (14) 実証実験等で得られたデータ等については、官民データとしての活用に御協力をお願いすることがあります。

10. 参考

- (1) マイナンバー制度とマイナンバーカードについて
https://www.soumu.go.jp/kojinbango_card/index.html (総務省)
- (2) 民間事業者におけるマイナンバーカードの利活用
https://www.soumu.go.jp/kojinbango_card/cardrikatsuyou.html (総務省)
- (3) 公的個人認証サービスによる電子証明書 (民間事業者向け)
https://www.soumu.go.jp/kojinbango_card/kojinninshou-02.html (総務省)
- (4) IC チップ空き領域に搭載するカードアプリ (民間事業者向け)
https://www.soumu.go.jp/kojinbango_card/cardap.html (総務省)

主催：香川県、高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市
三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、宇多津町、綾川町、琴平町、多度津町
まんのう町

共催：かがわ情報化推進協議会、情報通信交流館 (e-とぴあ・かがわ)

後援：総務省、デジタル庁、一般社団法人デジタルアイデンティティ推進コンソーシアム

協賛：アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社、株式会社 STNet、株式会社 NTT データ四国
かがわ県民情報サービス株式会社、株式会社カワイ
グーグル・クラウド・ジャパン合同会社、xID 株式会社、高松琴平電気鉄道株式会社
日本マイクロソフト株式会社、株式会社両備システムズ
※五十音順